

新公立病院改革プランの概要版

【医療機関名】 諏訪中央病院

項目	内容
1 現在の医療機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 病床数：高度急性期 74、急性期 214、回復期 36、慢性期 36 計 360 床 ・ 役割：救急告示病院 等 ・ 算定診療報酬：一般病棟入院基本料（7 対 1 入院基本料）等 ・ 診療科：内科、腎臓内科、小児科、産婦人科、外科、等 3 2 科
2 医療機関が抱える課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成28 年度は6億円を越える赤字となった。第3期増改築事業の影響も考えられるが、恒常的な赤字経営体制であると認識している。 経営の効率化といった視点で現状を判断すると、常勤医師数が100 人近くとなり、専門医等がいて病院の診療機能が向上しているにもかかわらず当院が持つマンパワーを十分に発揮できていないことが課題として挙げられるところ。 ・ 他の医療機関との連携強化のため、紹介、逆紹介件数の改善や広報活動の推進 ・ 病院機能の効率化や強化のための、ほのぼの透析クリニックのあり方検討 等
3 課題を踏まえた将来の医療機能・担うべき役割	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後担うべき役割 <ul style="list-style-type: none"> ○ 八ヶ岳西麓の救急医療を担うこと ○ 高齢者に多い整形外科領域や複数疾患をもつ患者への適切な医療の提供 ○ 在宅復帰に向けたリハビリテーション医療の充実 ○ 在宅では診ることのできない慢性患者の受け入れを今まで以上に質の向上を図りながら進める ○ 安心して子供を出産し、育てられるよう小児・産婦人科の充実を図ること
4 将来に向けた取り組みスケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・ 将来の病床機能の転換に向けた検討スケジュール：地域包括ケア病棟を1 病棟増やし2 病棟とする（H29. 12 月より） ・ 総合確保基金等の活用（H30 歯科ユニット、レントゲン 980 万円） 将来の課題として、既存の病院機能の再編成を目指しているが、医療圏構想を踏まえ将来目指す医療体制構築のため各病院が独自に進める機能強化、効率化等へ取組に柔軟度があり自由度がある支援制度（メニューの拡大）を希望したい。
5 数値目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 日当たり入院患者数：330 人 ・ 1 日当たり外来患者数：920 人 ・ 病床利用率：91.7% ・ 救急車搬入患者数：2,450 人 ・ 手術件数：2,200 件 等

